

情報提供等への取り組みに関するガイドラインに基づく情報提供

(令和5年9月1日現在)

千葉県自動車整備商工組合立
専門学校千葉県自動車大学校

目次

- (1) 学校の概要、教育目的、教育方針
- (2) 各学科等の教育
- (3) 教職員
- (4) キャリア教育・実践的職業教育
- (5) 様々な教育活動・教育環境
- (6) 学生の生活支援
- (7) 学生納付金・修学支援
- (8) 学校の財務
- (9) 学校評価

(1) 学校の概要、教育目的、教育方針

HPに掲載 CATS とは <https://cats.ac.jp/about>

校長名	廣瀬 浩明	
所在地	千葉県千葉市美浜区新港156	
連絡先	TEL 043-247-0848 FAX 043-244-5713	
学校の沿革	昭和45年1月30日	千葉県知事より各種学校の認可を受ける(千葉県指令第445号)
	昭和45年4月1日	千葉県自動車工業協同組合立として開校
	昭和45年4月1日	三級自動車整備士課程自動車整備科(1年制)設置 養成定員100名
	昭和45年12月17日	運輸大臣より自動車整備士一種養成施設三級自動車整備士課程(1年制)の指定を受ける(指定番号一養第285号)
	昭和49年4月23日	設立母体である千葉県自動車工業協同組合が千葉県自動車整備商工組合に組織変更、同商工組合立となる
	昭和50年4月5日	二級自動車整備士課程自動車整備科(2年制)設置 養成定員50名
	昭和50年7月7日	運輸大臣より二級自動車整備士課程(2年制)の認可を受ける
	昭和51年4月1日	三級自動車整備士課程(1年制)廃止
	昭和51年6月8日	千葉県知事より専修学校(専門課程)の認可を受ける(千葉県指令第1519号)
	平成7年1月23日	文部大臣告示により二級自動車整備士課程自動車整備科(2年制)に「専門士」(工業専門課程)の称号が付与される
	平成15年4月1日	運輸大臣より一級自動車整備士養成課程の認可を受ける 自動車研究科(2年制)設置 養成定員25名
	平成17年3月3日	文部科学大臣告示により一級自動車整備士課程自動車研究科(2年制)に「専門士」(工業専門課程)の称号が付与される
	平成18年4月1日	学校名を「千葉県自動車技術専門学校」から「千葉県自動車大学校」に変更
	平成18年8月1日	学校名を「千葉県自動車大学校」から「専門学校千葉県自動車大学校」に変更
	平成18年10月1日	自動車研究科(2年制)課程を廃止、一級自動車研究科(4年制)課程に変更 養成定員25名 自動車整備科(2年制)課程を廃止、二級自動車整備科(2年制)課程に変更 養成定員120名
	平成19年3月6日	文部科学大臣告示により一級自動車整備士課程一級自動車研究科(4年制)に「高度専門士」(工業専門課程)の称号が付与される 文部科学大臣告示により二級自動車整備士課程二級自動車整備科(2年制)に「専門士」(工業専門課程)の称号が付与される
	平成22年4月1日	二級自動車整備科 養成定員を75名に変更
	平成28年2月19日	文部科学省より職業実践専門課程の認可を受ける
	平成28年7月29日	厚生労働大臣より専門実践教育訓練講座の指定を受ける
	平成31年4月1日	カーメカトロニクス科(1年制)設置 養成定員20名
	令和4年4月1日	一級自動車研究科 養成定員を20名に変更、二級自動車整備科 養成定員を50名に変更、カーメカトロニクス科 養成定員を10名に変更

教育目的 教育方針	<p>1. 教育目的</p> <p>本校は、教育基本法及び学校教育法に基づき、自動車整備についての専修学校教育を行い、その応用能力と優れた人格とを涵養し、もって自動車整備業界に有用な実践力に富む人材を育成することによって、交通産業の健全な発展を期することを目的とする。</p> <p>2. 教育方針</p> <p>技術革新のめざましい現代社会に充分対応でき、かつ将来自動車整備業界の有用な人材となり得る素地の育成に主眼を置き、</p> <p>1)より高い人格の形成</p> <p>2)練磨された技能の修得</p> <p>3)お客様に信頼と満足を提供できる人材の育成</p> <p>を教育方針とする。</p>
--------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(2) 各学科等の教育

①入学者数、定員数、在学者数

学 科	昼夜別	修業年限	入学定員	総定員	入学者数	在籍者数
二級自動車整備科	昼間	2年	50名	100名	21名	48名
一級自動車研究科	昼間	4年	20名	80名	13名	63名
カーメカトロニクス科	昼間	1年	10名	10名	2名	2名

②カリキュラム

HPに掲載 学科紹介 <https://cats.ac.jp/department> ※1H=45分

学 科	総授業時間	付与称号
二級自動車整備科	2368H	専門士（工業専門課程）
一級自動車研究科	4796H	高度専門士（工業専門課程）
カーメカトロニクス科	1260H	

③進級・卒業の要件等

・教育評価は、次の通りとする。

- (1) 学科科目、実習科目の履修成績を認定するため、各科目別に教育評価を行う。
- (2) 教育の評価は、平常評価及び平常試験、学期末試験により行う。
- (3) 平常評価及び平常試験は、各科目の履修状況を評価する為に行う。
- (4) 学期末試験は、前期末試験、後期末試験により行い、後期末試験は実施する学年によって進級試験（一級自動車研究科の1年次、2年次、3年次及び二級自動車整備科1年次の学年末）、卒業試験（一級自動車研究科の4年次、二級自動車整備科2年次及びカーメカトロニクス科の学年末）とし、各学期における学科科目及び実習科目の履修範囲について評価を行う。評価は概ね次の通りとする。
優（100～90点） 良（89～70点） 可（69～60点） 不可（59点以下）

・次の1に該当する者は、学期末試験を受けることは出来ない。

- (1) 各学科時間の出席率が国土交通省指定科目については、国土交通省で定める授業教育時間数に満たない者。その他の科目については90%未満の者。
- (2) 各実習時間の出席率が国土交通省指定の授業教育時間数に満たない者。
- (3) 授業料等学費滞納中の者及び処分を受けつつある者。

④資格取得

学 科	資 格	
二級自動車整備科	養成資格	二級ガソリン自動車整備士 二級ジーゼル自動車整備士
	その他資格	ガス溶接技能講習 アーク溶接業務特別教育 有機溶剤作業主任者技能講習 損害保険募集人一般試験 ソーシャル検定中級 危険物取扱者 電気自動車等整備業務特別教育 タイヤ空気充填業務特別教育 自由研削砥石取替え等の業務に関わる特別教育
一級自動車研究科	養成資格	一級小型自動車整備士 二級ガソリン自動車整備士 二級ジーゼル自動車整備士
	その他資格	ガス溶接技能講習 アーク溶接業務特別教育 有機溶剤作業主任者技能講習 損害保険募集人一般試験 ソーシャル検定中級 危険物取扱者 電気自動車等整備業務特別教育 タイヤ空気充填業務特別教育 自由研削砥石取替え等の業務に関わる特別教育 中古自動車査定士（小型） 職業訓練指導員 日商PC検定文書作成3級 CNG自動車構造取扱講習
カーメカトロニクス科	その他資格	第二種電気工事士 富士車輛取扱士 中古自動車査定士（小型） 職業訓練指導員 CNG自動車構造取扱講習 タイヤ空気充填業務特別教育

⑤卒業生数と就職率

学 科	卒業生数	就職希望者数	就職者数	就職率
一級自動車研究科	14名	14名	14名	100%
二級自動車整備科	31名	※24名	24名	100%
カーメカトロニクス科	0名	0名	0名	0%

※内部進学7名を除く

(3) 教職員

教職員数	本務教員	兼務教員	本務職員
	14名	1名	2名

(4) キャリア教育・実践的職業教育

① キャリア教育・実践的職業教育

学 科	科 目	到 達 目 標
二級自動車整備科	一般教養 CS ビジネスマナー 経営学	自動車関連団体をはじめ、広く業界を認識していること。そして、社会人としての基礎力を身に付けると共に接客技法を身に付けていること。また、自動車整備の知識、技能のみならず、経営の基礎的要素を理解できること。
一級自動車研究科	教養 指導理論 TQM	多様化する自動車ユーザーに自動車の新技術の普及や保守管理を支援するため、早く、正確で、分かり易い情報の提供、環境保全に向けた対応ができ、職場環境の改善に貢献できること。また、人間の心理、性質、人間関係をはじめ、リーダー（指導者）としての基礎知識を持ち、効果的な指導方法を知っていること。
	インターンシップ	企業における実際の整備作業や接客方法を体験することにより、整備実務を研修し、実際の整備に対応できること。
カーメカトロニクス科	教養	整備業界について知識を持っており、問題点と改善案が提案できること。
	インターンシップ	企業における実際の整備作業や接客方法を体験することにより、整備実務を研修し、実際の整備に対応できること。

② 就職支援

HPに掲載 就活サポート <https://cats.ac.jp/employment>

- (1) 毎年、学校独自の企業説明会を実施している。
- (2) 個別に履歴書の書き方をはじめ、企業訪問、面接の受け方、筆記、作文、実技試験対策等の指導を行っている。

(5) 様々な教育活動・教育環境

① 学校行事

HPに掲載 イベントスケジュール <https://cats.ac.jp/campus>

4月	入学式・始業式・避難訓練
5月	健康診断・献血・2年生研修旅行・人と車のテクノロジー展見学
6月	違法改造防止講習
7月	交通安全教室
11月	ジャパンモビリティショー・自動車リサイクル工場・中古車オークション会場見学
12月	献血
1月	東京オートサロン見学
3月	卒業式

②部活動

野球部、自動車部、サッカー部

HPに掲載 クラブ活動 <https://cats.ac.jp/campuslife/club>

(6) 学生の生活支援

- ①個々の学生に対する個別面談の実施
- ②保護者からの相談対応
- ③災害により被災した学生に対する支援の実施

(7) 学生納付金・修学支援

- ①学生納付金・奨学金

HPに掲載 学費について <https://cats.ac.jp/students/cost>

(8) 学校の財務

令和4年度 資金収支計算書

(令和4年4月1日～令和5年3月31日 単位:円)

区 分	決算
a 学生生徒等納付金収入	130,245,800
b 手数料収入	7,554,434
c 寄付金収入	0
d 補助金収入	4,068,900
e 資産売却収入	0
f 不随事業・収益事業収入	0
g 受取利息・配当金収入	0
h 雑収入	4,310,565
i 借入金等収入	0
j 計	146,179,699

区 分		決算
a 人件費支出		102,122,683
内 訳	(1) 教員人件費支出	87,816,828
	(2) 職員人件費支出	9,390,624
	(3) 役員報酬支出	0
	(4) 退職金支出	4,610,000
	(5) その他 ((1)(2)(3)(4)以外の支出)	305,231
b 教育研究(管理)経費支出		37,756,208
c 施設関係支出		11,494,526
内 訳	(1) 土地支出	2,435,400
	(2) 建物支出	9,059,126
	(3) 構築物支出	0
	(4) その他 ((1)(2)(3)以外の支出)	0
d 設備関係支出		24,466,263
内 訳	(1) 教育研究用機器備品支出	24,330,499
	(2) 図書支出	135,764
	(3) その他 ((1)(2)以外の支出)	0
e 債務償還費		0
f 計		175,839,680
収支差額		-29,659,981

(9) 学校評価

HPに掲載 情報開示 <https://cats.ac.jp/data>